

# 令和3年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和2年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	展示事業			事業番号	008-063
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸 課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(3) 類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①堺の歴史文化資源を活用した滞在、消費拡大促進			
			有・無	指標名	延べ宿泊者数			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9	
		寄与するKPI	有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信			
			有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画							
3	事業開始年度			昭和 55 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等) 博物館法・文化財保護法							

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等) 出先機関						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数) 市民及び本市への来訪者						
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態) 常設展示による堺の通史や多様なテーマによる企画展・スポット展示等を通して、市民及び来訪者に堺市の歴史文化を紹介することで、都市魅力の創出を図る。また、魅力的な企画展等を開催することで堺への集客促進や来館者増に寄与することを目的とする。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段) 博物館の基本展示である常設展示のほか、テーマをしばり深く掘り下げた内容を紹介する企画展等を開催する。また、これらの展覧会に付随する図録の作成や講演会などの関連事業も併せて実施する。なお、令和3年度からは、さかい利晶の杜で実施していた展示系業務を当該事業に統合して実施する。						
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等) 委託業務の受注者						
10	公民連携・協働事業						

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度
11 開館1日あたりの観覧者数	人	目標値	290	200	200	400
		実績値	397	154		
		達成率	137%	77%		
当該指標を選定した理由		開館日の増減で左右されない数値であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		展示観覧者総数/開館日				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
12 特別展・企画展等の開催回数 (利晶除く)	人		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	7	5	6	
		実績値	6	5		
		達成率	86%	100%		
当該指標を選定した理由		観覧者の増加を図るためには、魅力ある特別展等の開催が必須のため。				
目標値の設定根拠・算出方法		当初の事業計画(展覧会等の開催計画)に沿った特別展・企画展等の開催回数				

## 令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	展示事業	事業番号	008-063
-------	------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

(単位：千円)

事業費	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
13	事業費 (a)	12,969	7,403	12,070	6,255	15,257
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ( 物品売払収入 )		1,900	4,450	618	1,216
	受益者負担金(使用料、手数料等)	2,104	3,170	5,710	804	3,000
	一般財源	10,865	2,333	1,910	4,833	11,041
14	人件費 (b)	25,420	25,110	25,420	25,420	32,720
15	年間経費(c)=(a)+(b)	38,389	32,513	37,490	31,675	47,977

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	謝礼金	R2	決算	0	0	展覧会運搬展示業務	R2	決算	850	582
		R3	予算	923	923		R3	予算	4,768	3,547
	旅費	R2	決算	96	96	広報資料製作業務	R2	決算	414	414
		R3	予算	1,003	1,003		R3	予算	558	0
	需用費	R2	決算	795	795	図録製作業務	R2	決算	1,000	114
		R3	予算	1,512	1,362		R3	予算	2,205	1,139
役務費	R2	決算	100	100	各業務委託料	R2	決算	1,094	1,094	
	R3	予算	220	220		R3	予算	440	440	
会場設営業務	R2	決算	1,814	1,546	使用料及び賃借料	R2	決算	92	92	
	R3	予算	3,228	2,007		R3	予算	400	400	

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度	
		①	年間の観覧者数 (博物館 + 利晶の杜)	人
②	上記①にかかる年間経費	千円	32,513	31,671
③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	166	531
備考 (算出についての説明等)				

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<p>コロナ禍の影響により開館日数が減り、観覧者数も令和元年度から激減している。開催できなかったり会期を短縮した企画展があり、例年より数値は低いものとなった。</p>
----	---

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>コロナ禍の影響で、堺の歴史・文化の魅力を展示を通じて十分に発信することはできなかったが、オンラインによる動画配信を通して、常設展や企画展などの情報発信を行った。これにより今までとは異なった年齢層への魅力発信につながったものと考えられる。</p>
----	---